

継続投資教育編

マッチング拠出は約8割、DCのメリットを啓発

ユーシービージャパン株式会社

タレント&コーポレートサービス部・
タレントリワードアドバイザー

さかい かつまさ
坂井 勝正氏

会社概要

本 社：東京都新宿区
業 種：医薬品
従業員：530名(単体)

ユーシービージャパンはベルギーに本社を置くバイオファーマ企業で、設立は1988年、従業員数は500名強の会社です。主要な製品として抗てんかん薬のイーケブラ、ビムパット、関節リウマチ、乾癬の治療薬であるシムジアを提供しています。

当社の退職給付制度は確定拠出年金(DC)とキャッシュバランスプラン(CB)の併用で、2005年12月末に適格退職年金を廃止し、翌06年1月に両制度を導入しました。特にDCは、転退職者の多い当社にはポータビリティが魅力でした。

DCの継続教育は、制度導入以来毎年欠かさず実施しており、最初の10年間は運営管理機関の講師による集合研修、次に人事スタッフによる研修を挟んで、ここ数年はテーマごとに分けたビデオ形式のEラーニングを実施しています。

継続教育について当社が重視しているのは、地道に根気よく、おれずにアプローチしていくことです。そして社員には、「老後の生活資金をしっかりと準備してもらいたい」「DCの運用経験を通じて金融リテラシーを高めてもらいたい」と考えていて、DCのメリット

を十分活用していくために、運営管理機関と連絡を密にしながら最新の情報をキャッチするようにしています。

当社は中途採用だけで新卒採用は行っていませんが、毎月10名前後の中途採用者がいるので、DC・CBの説明会は毎月実施しています。そこでは基本的な要素にポイントを絞っていて、DC制度の仕組みやマッチング拠出の利点などについて説明しています。

継続教育の成果に関しては、運営管理機関からのモニタリングデータでも、ほぼすべての項目が5分位数でAランクをキープしています。運用実績は、拠出開始以来の中央値が6.55%(2021年5月時点)で、ここ1年では16.72%とかなり高い水準にあります。また掛金配分でも元本確保型は10%を下回っていて、アセットクラス数平均値も3.8。残高配分でも元本確保型は20%を下回っており、アセットクラス数平均値も4.4と、分散投資がしっかりできている

ことが示されています。

また配分変更、スイッチングも約4割の人が経験していて、一番新しい数字では77.1%の人がマッチング拠出を行っています。私はよく皆さんに、「マッチング拠出は8割の人がやっています。多分やらない人は転職を考えているくらいだと思いますよ」と話すほどです。

当社のDC教育には、特にエクセレントな部分はありますが、とにかくDCの導入以来、1年も欠かさず継続教育を行っていることが自慢です。また運営管理機関と密接に連携して、参加者には「何かを持って帰ってもらう」「何かを学んでもらう」ことを常に心がけています。

継続教育はDCの利点をいかにアピールするかが大切ですが、人事のスタッフにも継続教育を通じて学びや気づきがあります。社員にしっかりとした老後の生活資金を確保してもらうために、これからもより良いDC制度の維持に努めていきます。 **DC**



坂井 勝正氏

※この記事は、第10回 日本DCフォーラムで各受賞企業により発表された内容をまとめたものです